

【NRCLレポート】 パソコン・スマートフォンなどの情報機器調査

2023年2月・4月調査結果



日本リサーチセンター

Member of Gallup International Association

東京都墨田区江東橋4-26-5

TEL:03-6894-6400 (代)

<https://www.nrc.co.jp/>

Research Innovation Partner

◆NRCLレポート

2023年2月・4月調査で、「パソコン・スマートフォンなどの情報機器」の調査を実施しました。調査対象者は、全国15～79才男女2,400名を対象となります（2月調査・4月調査各回で1,200名、2回合計で2,400名）。

本調査はインターネット調査ではなく、調査員による訪問留置法で実施しており、パソコンやインターネットを利用していない人も対象に含んでパソコンやスマートフォンの利用率を調べることができます。

本調査は、2014年から2019年まで毎年実施、改めて4年の経過を経て2023年に実施いたしました。情報関連機器について時系列変化に注目して分析しております。

◆調査項目

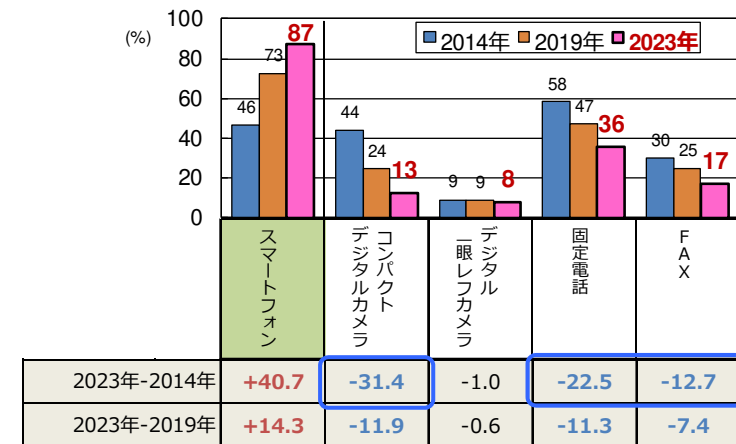
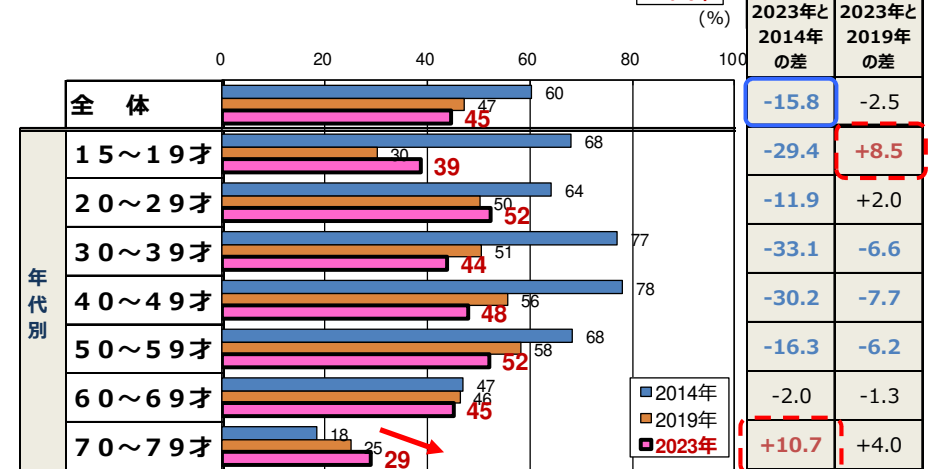
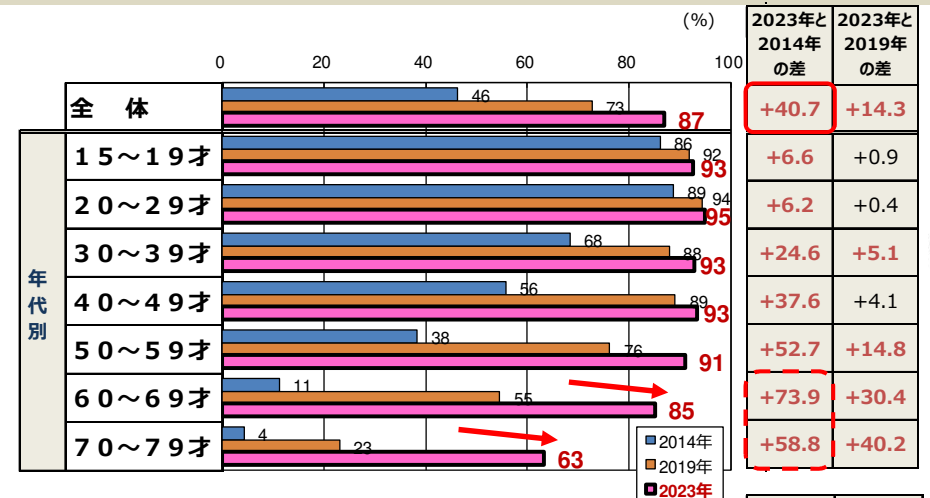
1. 情報機器の利用
2. インターネットで行っていること

◆ 利用機器の時系列変化

●「スマートフォン」の利用率は全体で2014年46%→2023年87%と**41pt増加**。特に、高齢層では、**60代で74pt・70代で59ptと大きく増加**。2014年時点では、どちらかといえばスマートフォンは若い世代中心の利用であったが、家族や周囲で利用が広がる中、2023年時点では高齢者も含めた幅広い世代でスマートフォンが利用されている状況となっている。

●「パソコン」の利用率は全体で2014年60%→2023年45%と**16pt減少**。全体的に減少している年代が多いが、**70代では11pt増加**。以前パソコン利用していた60代が徐々に加齢し70代に移行していることがうかがえる。2019年→2023年では**15～19才が9pt増加**しているが、これはコロナ禍でオンライン授業実施など、10代のパソコン利用が増えた影響もあると推測される。

●その他機器では、「コンパクトデジタルカメラ」は**31ptと大きく減少**、「固定電話」は**23pt**、「FAX」は**13pt**、とそれぞれ**10p以上の減少**。上記の「パソコン」の利用率減少も含め、これら機器利用率の減少は、スマートフォンの利用率増加と合わせ、その機能がスマートフォンで一部代替可能となっていることも影響していると思われる（「一眼レフカメラ」などは、機能がスマートフォンで代替困難なためか大きな減少となっていない）

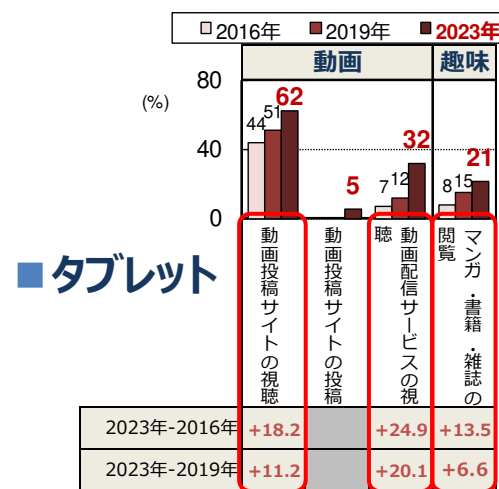
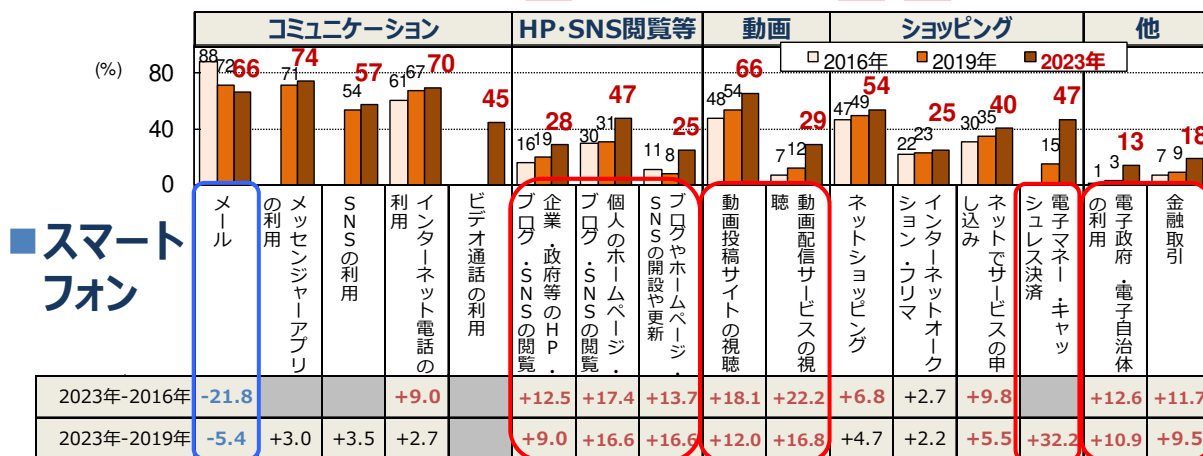
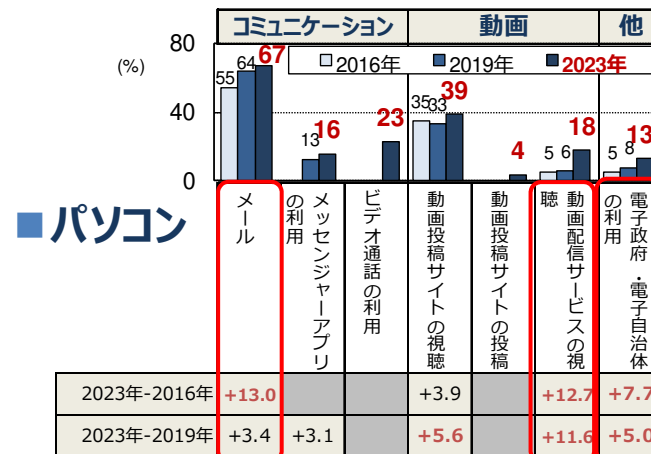


◆インターネットで行っていることの機器別時系列変化

●「パソコン」を利用してインターネットで行っていることでは、2016年→2023年で「メール」「動画配信サービスの視聴」「電子政府・電子自治体の利用」が増加。特に、2019年→2023年で「動画配信サービスの視聴」が12pt増加しており、コロナ禍で外出自粛のさなか、自宅で動画を楽しむ人が増えたことの影響が考えられる。

●「スマートフォン」を利用してインターネットで行っていることでは、2016年→2023年で「動画配信サービスの視聴」「動画投稿サイトの視聴」「個人のホームページ・ブログ・SNSの閲覧」等が増加。2019年→2023年では、HP・SNS閲覧等や動画視聴関連の項目が増加しているのに加え、「電子マネー・キャッシュレス決済」が32pt増加、「電子政府・電子自治体の利用」も増加している。これらは、スマホでのバーコード決済普及やマイナポータル登録などの影響もあると考えられる。

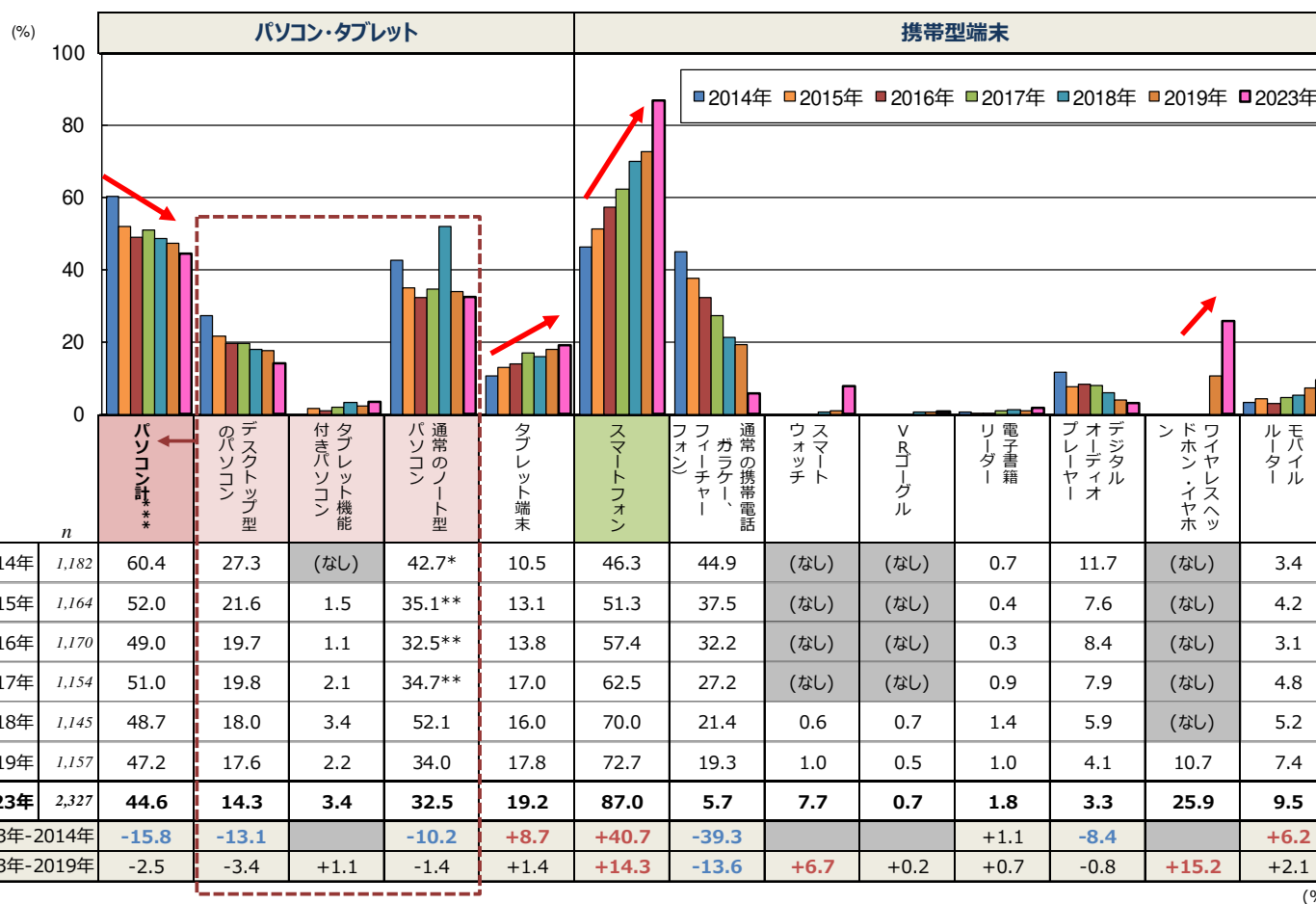
●「タブレット」を利用してインターネットで行っていることでは、2016年→2023年で「動画配信サービスの視聴」「動画投稿サイトの視聴」「マンガ・書籍・雑誌の閲覧」が増加。いずれも、スマホよりも大きな画面で楽しめることと、パソコンほど頻りにタッチ操作が不要なことから、動画視聴や雑誌閲覧関連でのタブレット利用が増えていると思われる。



- ◆ **パソコン・タブレット**では、「デスクトップ型のパソコン」「タブレット機能付きパソコン」「通常のノート型パソコン」のいずれか利用している「パソコン計」は、2014年60%→2023年45%と減少（-16pt）。一方、「タブレット端末」は、2014年11%→2023年19%と増加（+8pt）。
- ◆ **携帯型端末**では、「スマートフォン」は2014年46%→2023年87%と大きく増加（+41pt）。2015年時点では「パソコン計」「スマートフォン」が拮抗であったが、2023年時点では「スマートフォン」の個人利用率（87%）が、「パソコン計」の個人利用率（45%）より42pt高い。また、「ワイヤレスヘッドホン・イヤホン」は2019年11%→2023年26%と増加（+15pt）。

■ 時系列の比較

あなたが現在、ご利用になっている機器を、すべてお知らせください（無回答者除く:複数回答）



時系列比較の際は、2019年と2023年の間で4年間経過していることに、留意ください

+5ポイント以上の差→赤
-5ポイント以上の差→青

*2014年は「通常のノート型パソコン」「ネットブック」「高性能薄型ノートパソコン」の計

**2015年～2017年は「通常のノート型パソコン」「高性能薄型ノートパソコン」の計

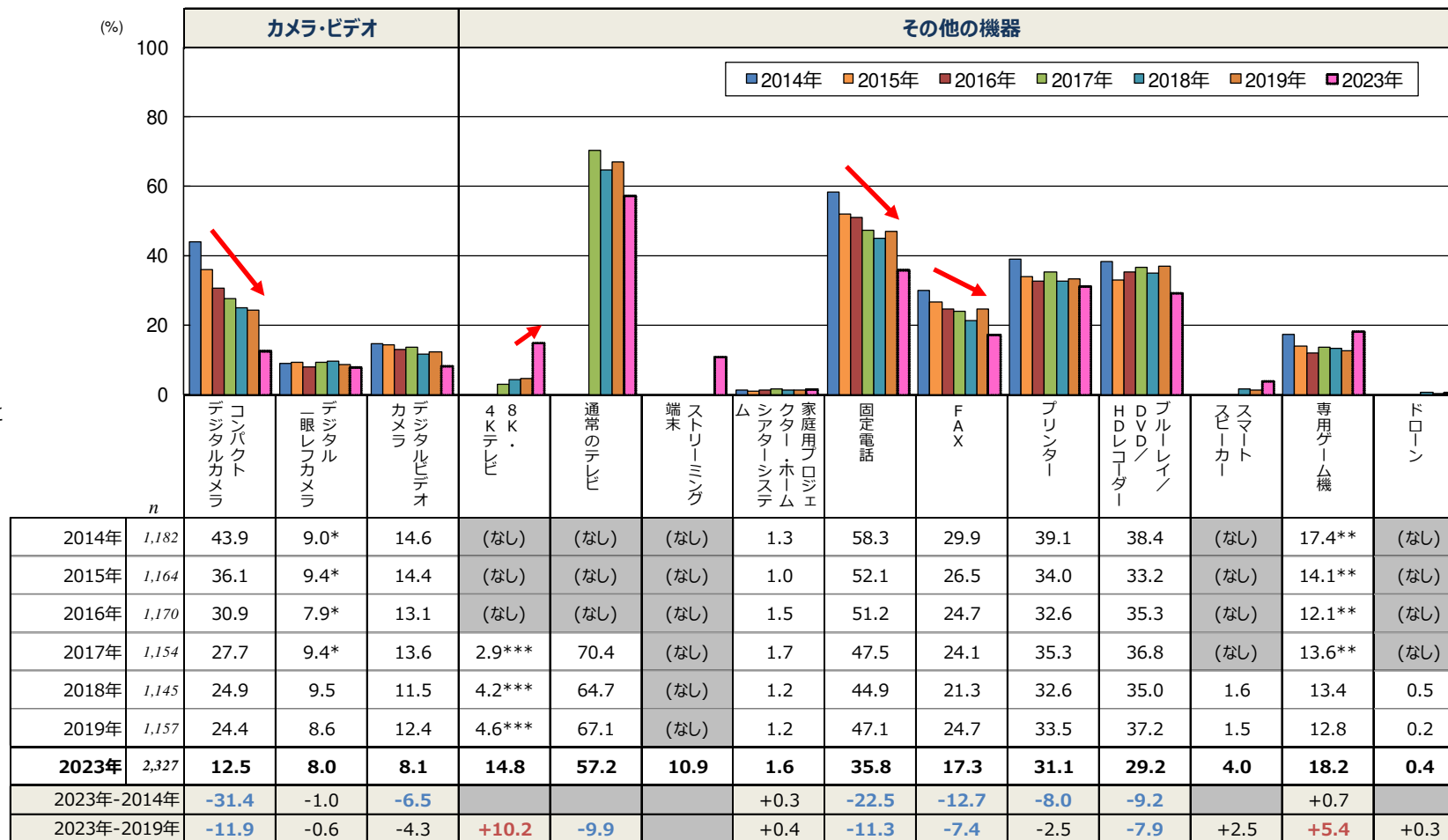
***「デスクトップ型のパソコン」「タブレット機能付きパソコン」「通常のノート型パソコン」のいずれかを利用している割合（2014年は「ネットブック」、2015年～2017年は「高性能薄型パソコン」を含む）

- ◆カメラ・ビデオでは、「コンパクトデジタルカメラ」が2014年44%→2023年13%と減少（-31pt）。
- ◆その他の機器では、「固定電話」が2014年58%→2023年36%で減少（-23pt）、「FAX」も2014年30%→2023年17%と減少（-13pt）。「8K・4Kテレビ」は、2019年「4Kテレビ」5%→2023年「4K・8Kテレビ」15%と増加（+10pt）。

■ 時系列の比較

あなたが現在、ご利用になっている機器を、すべてお知らせください（無回答者除く：複数回答）

時系列比較の際は、2019年と2023年の間で4年間経過していることに、留意ください



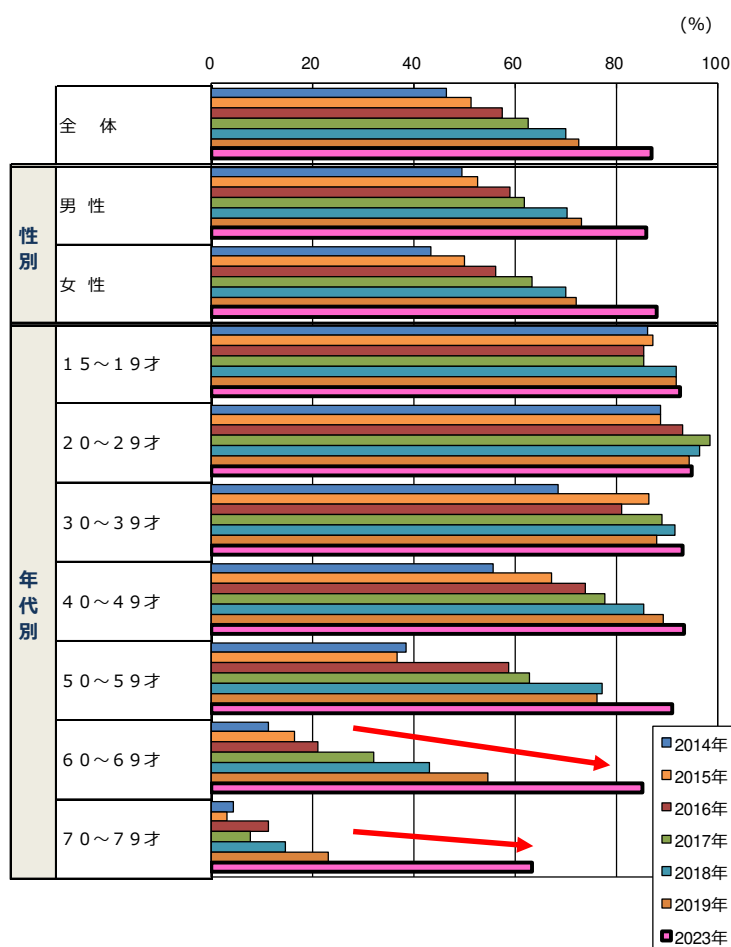
(%)

*2014年～2017年は「ミラーレス一眼」と「デジタル一眼レフカメラ」の計
 **2014年～2017年は「携帯型ゲーム機」と「据置型ゲーム機」の計
 ***2017年～2019年は「4Kテレビ」

「スマートフォン」の利用率の変化について、性別・年代別でみる。

- ◆性別間の時系列変化では、女性で2014年43%→2023年88%と、男性より増加幅が大きい（女性：+45pt、男性：+37pt）。
- ◆年代別の時系列変化では、60代で2014年11%→2023年85%で増加幅が最も大きく（+74pt）、70代（+59pt）、50代（+53pt）でも増加幅は大きい。70代は、2019年23%→2023年63%と、同じ期間での60代より増加幅が大きい（70代：+40pt、60代：+30pt）。20代以下は2014年の時点でスマートフォン利用率が80%以上に達していたため、2023年時点の増加幅は6pt程度と大きくない。

■ 時系列（性別／年代別）：スマートフォン利用率



	n							%							2023年と2014年の差	2023年と2019年の差
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2023年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2023年		
全体	1,182	1,164	1,170	1,154	1,145	1,157	2,327	46.3	51.3	57.4	62.5	70.0	72.7	87.0	+40.7	+14.3
性別																
男性	583	583	574	569	563	571	1,151	49.4	52.7	58.9	61.7	70.2	73.2	86.0	+36.6	+12.8
女性	599	581	596	585	582	586	1,176	43.2	49.9	56.0	63.2	69.9	72.2	88.0	+44.8	+15.8
年代別																
15～19才	72	70	69	69	74	73	137	86.1	87.1	85.5	85.5	91.9	91.8	92.7	+6.6	+0.9
20～29才	151	141	146	143	142	145	294	88.7	88.7	93.2	98.6	96.5	94.5	94.9	+6.2	+0.4
30～39才	196	192	189	191	180	182	328	68.4	86.5	81.0	89.0	91.7	87.9	93.0	+24.6	+5.1
40～49才	210	208	211	206	211	212	432	55.7	67.3	73.9	77.7	85.3	89.2	93.3	+37.6	+4.1
50～59才	180	180	179	178	180	177	392	38.3	36.7	58.7	62.9	77.2	76.3	91.1	+52.7	+14.8
60～69才	215	209	215	210	213	216	382	11.2	16.3	20.9	31.9	43.2	54.6	85.1	+73.9	+30.4
70～79才	158	164	161	157	145	152	362	4.4	3.0	11.2	7.6	14.5	23.0	63.3	+58.8	+40.2

(注)

全体より5%以上高い

全体より5%以上低い

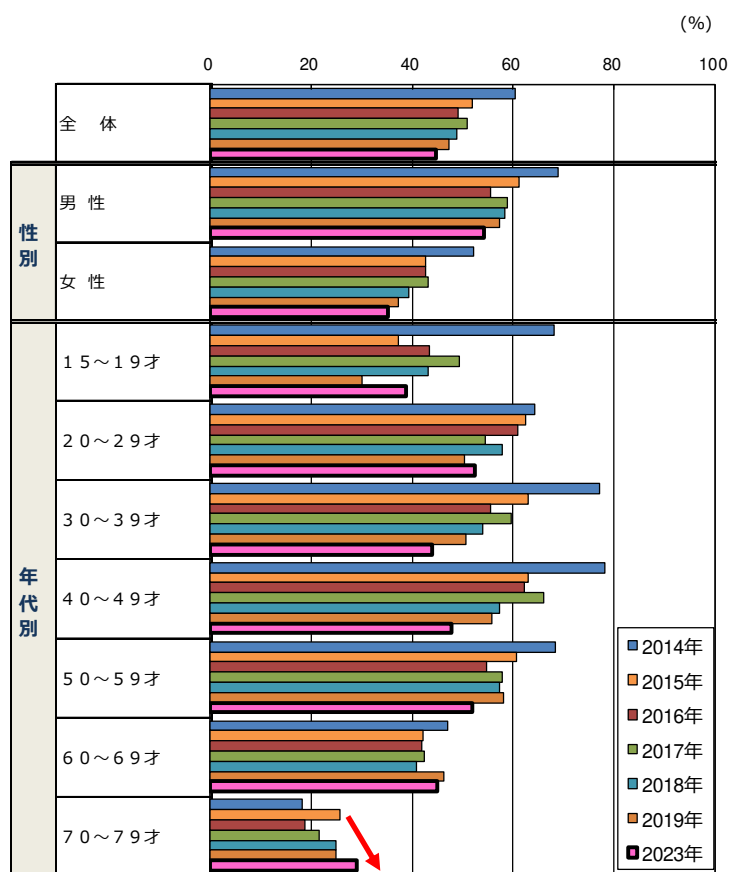
時系列比較の際は、2019年と2023年の間で4年間経過していることに、留意ください

+5ポイント以上の差→赤
-5ポイント以上の差→青

「デスクトップ型のパソコン」「タブレット機能付きパソコン」「通常のノート型のパソコン」のいずれかの利用率を「パソコン計」として、変化を性別・年代別でみる。
 (*2014年は「ネットブック」、2014年~2017年は「高性能薄型ノートパソコン」も含む)

- ◆性別で見ると、女性の利用率は2014年52%→2023年35%と17pt減少、男性も15pt減少となっている。
- ◆年代別では、2014年→2023年の期間で30代・40代では30pt以上と減少幅が大きい。15~19才も29ptと減少幅が大きい、2019年→2023年では+9ptと増加に転じている。70代は2014年→2023年で11ptと増加している。

■ 時系列（性別／年代別）：パソコン計利用率



n							%							2023年と2014年の差	2023年と2019年の差
2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2023年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2023年		
1,182	1,164	1,170	1,154	1,145	1,157	2,327	60.4	52.0	49.0	51.0	48.7	47.2	44.6	-15.8	-2.5
583	583	574	569	563	571	1,151	69.0	61.2	55.4	58.9	58.4	57.4	54.2	-14.7	-3.2
599	581	596	585	582	586	1,176	52.1	42.7	42.8	43.2	39.3	37.2	35.3	-16.8	-1.9
72	70	69	69	74	73	137	68.1	37.1	43.5	49.3	43.2	30.1	38.7	-29.4	+8.5
151	141	146	143	142	145	294	64.2	62.4	61.0	54.5	57.7	50.3	52.4	-11.9	+2.0
196	192	189	191	180	182	328	77.0	63.0	55.6	59.7	53.9	50.5	43.9	-33.1	-6.6
210	208	211	206	211	212	432	78.1	63.0	62.1	66.0	57.3	55.7	47.9	-30.2	-7.7
180	180	179	178	180	177	392	68.3	60.6	54.7	57.9	57.2	58.2	52.0	-16.3	-6.2
215	209	215	210	213	216	382	47.0	42.1	41.9	42.4	40.8	46.3	45.0	-2.0	-1.3
158	164	161	157	145	152	362	18.4	25.6	18.6	21.7	24.8	25.0	29.0	+10.7	+4.0

(注)

全体より5%以上高い

全体より5%以上低い

+5ポイント以上の差→赤
 -5ポイント以上の差→青

時系列比較の際は、2019年と2023年の間で4年間経過していることに、留意ください

世帯財を中心に自宅で持っている機器の保有率（世帯保有率）と個人利用率の変化をみる。

- ◆2014年→2023年で、「デジカメ計」は世帯保有率で24pt減少・個人利用率で30pt減少と他の機器と比べても減少幅が大きい。「固定電話」「FAX」は世帯保有率・個人保有率ともに10pt以上の減少となっている。「パソコン計」「プリンター」は世帯保有率で6~9ptの減少、「ブルーレイ/DVD/HDレコーダー」は世帯保有率はほぼ横ばいだが、個人利用率は9ptの減少。
- ◆一方、「専用ゲーム機」の世帯保有率は、2019年→2023年で8ptの増加となっている。

お家で、お持ちになっている機器をすべてお知らせください（無回答者除く：複数回答）

■ 時系列の比較

		n	パソコン計	デジカメ計 (コンパクト一眼)	固定電話	FAX	プリンター	ブルーレイ/DVD/HDレコーダー	専用ゲーム機	家庭用プロジェクター・ホームシアターシステム
世帯保有率	2014年	1,193	77.7	69.7*	77.7	50.9	60.3	50.8	38.0**	1.8
	2015年	1,194	73.2	65.0*	74.9	46.5	55.7	49.0	31.2**	1.8
	2016年	1,192	68.5	63.8*	76.0	45.8	53.9	50.8	32.8**	2.3
	2017年	1,192	72.3	61.8*	75.8	47.0	58.4	56.6	36.7**	2.4
	2018年	1,186	71.8	60.8	76.2	45.4	56.5	53.4	33.0	2.2
	2019年	1,194	71.0	54.3	74.8	44.4	56.7	55.1	33.2	2.3
	2023年	2,366	69.1	45.6	67.2	37.2	54.4	52.5	40.9	3.8
	2023年-2014年		-8.6	-24.1	-10.5	-13.6	-5.8	+1.7	+2.9	+2.0
	2023年-2019年		-1.9	-8.6	-7.6	-7.2	-2.3	-2.7	+7.6	+1.5
個人利用率 (再掲)	2014年	1,182	60.4	48.2*	58.3	29.9	39.1	38.4	17.4**	1.3
	2015年	1,164	52.0	40.5*	52.1	26.5	34.0	33.2	14.1**	1.0
	2016年	1,170	49.0	35.6*	51.2	24.7	32.6	35.3	12.1**	1.5
	2017年	1,154	51.0	33.4*	47.5	24.1	35.3	36.8	13.6**	1.7
	2018年	1,145	48.7	31.1	44.9	21.3	32.6	35.0	13.4	1.2
	2019年	1,157	47.2	29.3	47.1	24.7	33.5	37.2	12.8	1.2
	2023年	2,327	44.6	18.0	35.8	17.3	31.1	29.2	18.2	1.6
	2023年-2014年		-15.8	-30.2	-22.5	-12.7	-8.0	-9.2	+0.7	+0.3
	2023年-2019年		-2.5	-11.3	-11.3	-7.4	-2.5	-7.9	+5.4	+0.4

時系列比較の際は、2019年と2023年の間で4年間経過していることに、留意ください

+5ポイント以上の差→赤
-5ポイント以上の差→青

*2014年～2017年は「ミラーレス一眼」と「デジタル一眼レフカメラ」の計

**2014年～2017年は「携帯型ゲーム機」と「据置型ゲーム機」の計

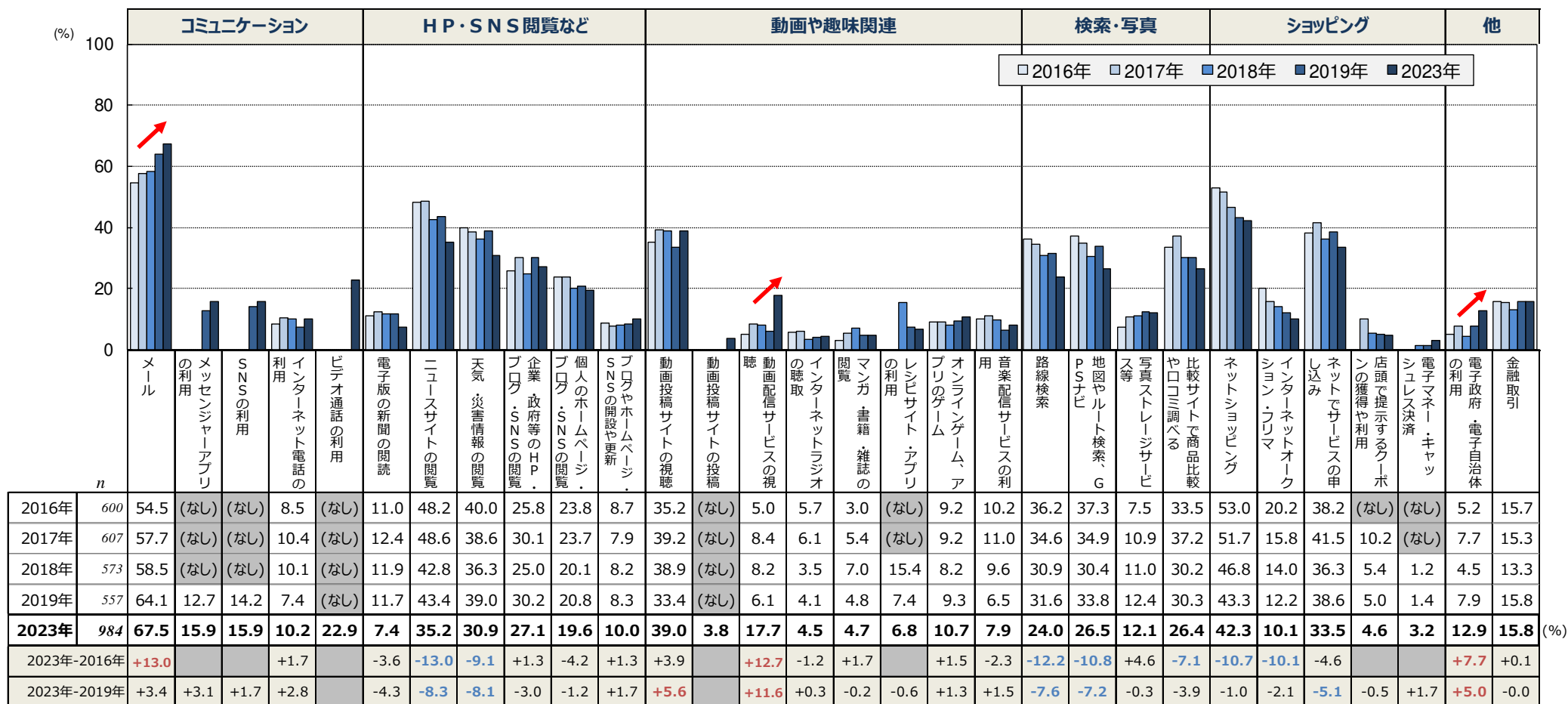
(%)

パソコンを利用してインターネットで行っていることの変化をみてる。

- ◆2016年→2023年で増加したのは、「メール」(+13pt)、「動画配信サービスの視聴」(+13pt)が10pt以上増加。2019年→2023年でみると、「動画配信サービスの視聴」(+12pt)、「動画投稿サイトの視聴」(+6pt)、「電子政府・電子自治体の利用」(+5pt)が5pt以上増加している。
- ◆2016年→2023年で減少したのは、「ニュースサイトの閲覧」(-13pt)、「路線検索」(-12pt)、「地図やルート検索、GPSナビ」(-11pt)、「ネットショッピング」(-11pt)、「インターネットオークション・フリマ」(-10pt)が10pt以上減少している。

■パソコン (2016年～2023年)

インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(パソコンのネット利用者ベース:複数回答)



時系列比較の際は、2019年と2023年の間で4年間経過していることに、留意ください

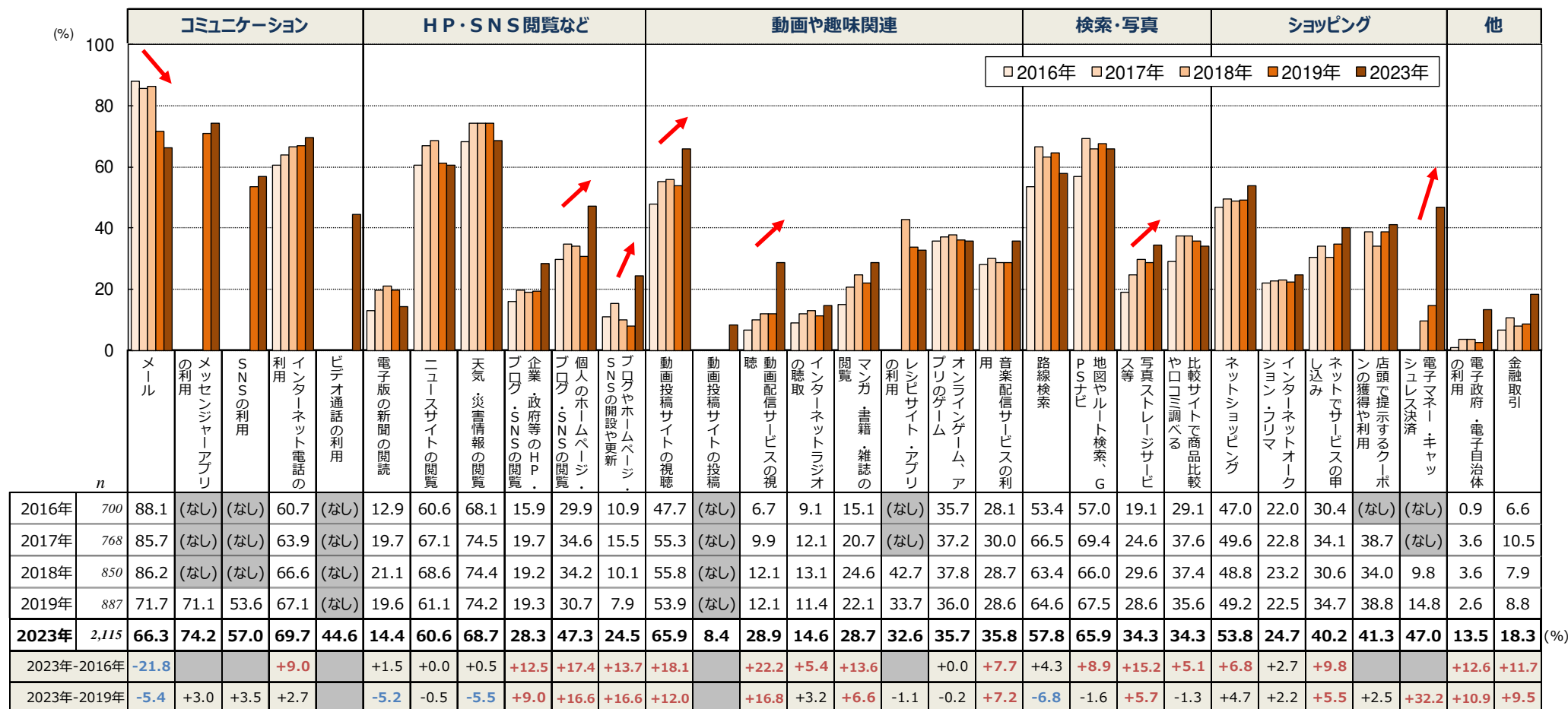
+5ポイント以上の差→赤
-5ポイント以上の差→青

スマートフォンを利用してインターネットで行っていることの変化をみる。

- ◆2016年→2023年で増加したもののうち増加幅が大きいのは、「動画配信サービスの視聴」(+22pt)、「動画投稿サイトの視聴」(+18pt)、「個人のホームページ・ブログ・SNSの閲覧」(+17pt)、「写真ストレージサービス等」(+15pt)が15pt以上増加している。2019年→2023年でみると、「電子マネー・キャッシュレス決済」(+32pt)の増加幅が大きく、「動画配信サービスの視聴」(+17pt)、「個人のホームページ・ブログ・SNSの閲覧」(+17pt)、「ブログやホームページ・SNSの開設や更新」(+17pt)が15pt以上増加している。
- ◆2016年→2023年では「メール」が減少(-22pt)。

■スマートフォン (2016年~2023年)

インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(スマートフォンのネット利用者ベース:複数回答)



時系列比較の際は、2019年と2023年の間で4年間経過していることに、留意ください

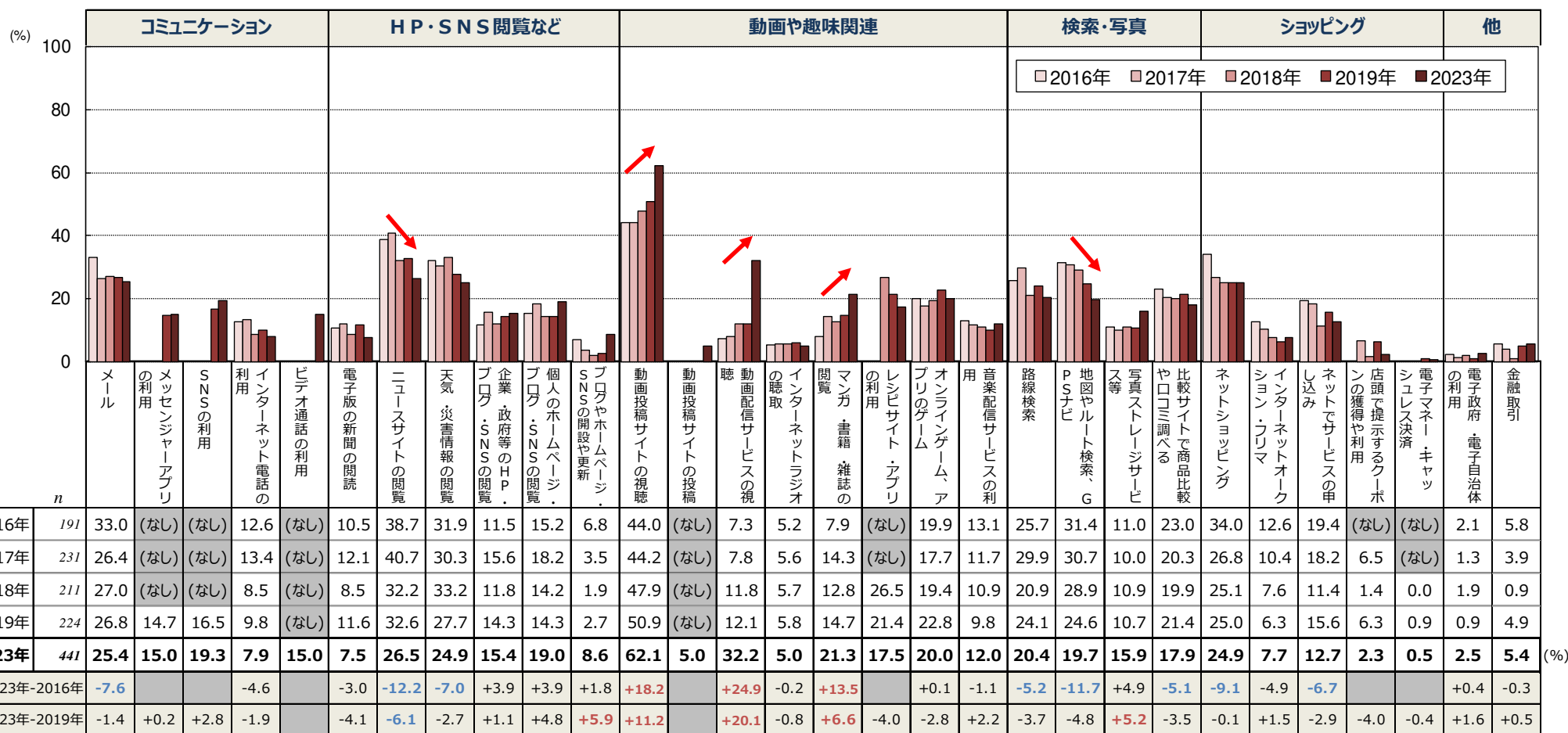
+5ポイント以上の差→赤
-5ポイント以上の差→青

タブレットを利用してインターネットで行っていることの変化をみている。

- ◆2016年→2023年で増加したのは、「動画配信サービスの視聴」(+25pt)、「動画投稿サイトの視聴」(+18pt)、「マンガ・書籍・雑誌の閲覧」(+14pt)が10pt以上増加している。2019年→2023年でみると、「動画配信サービスの視聴」(+20pt)、「動画投稿サイトの視聴」(+11pt)が10pt以上増加している。
- ◆2016年→2023年で減少したのは、「ニュースサイトの閲覧」(-12pt)、「地図やルート検索、GPSナビ」(-12pt)が10pt以上減少している。

■タブレット (2016年~2023年)

インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(タブレットのネット利用者ベース:複数回答)



時系列比較の際は、2019年と2023年の間で4年間経過していることに、留意ください

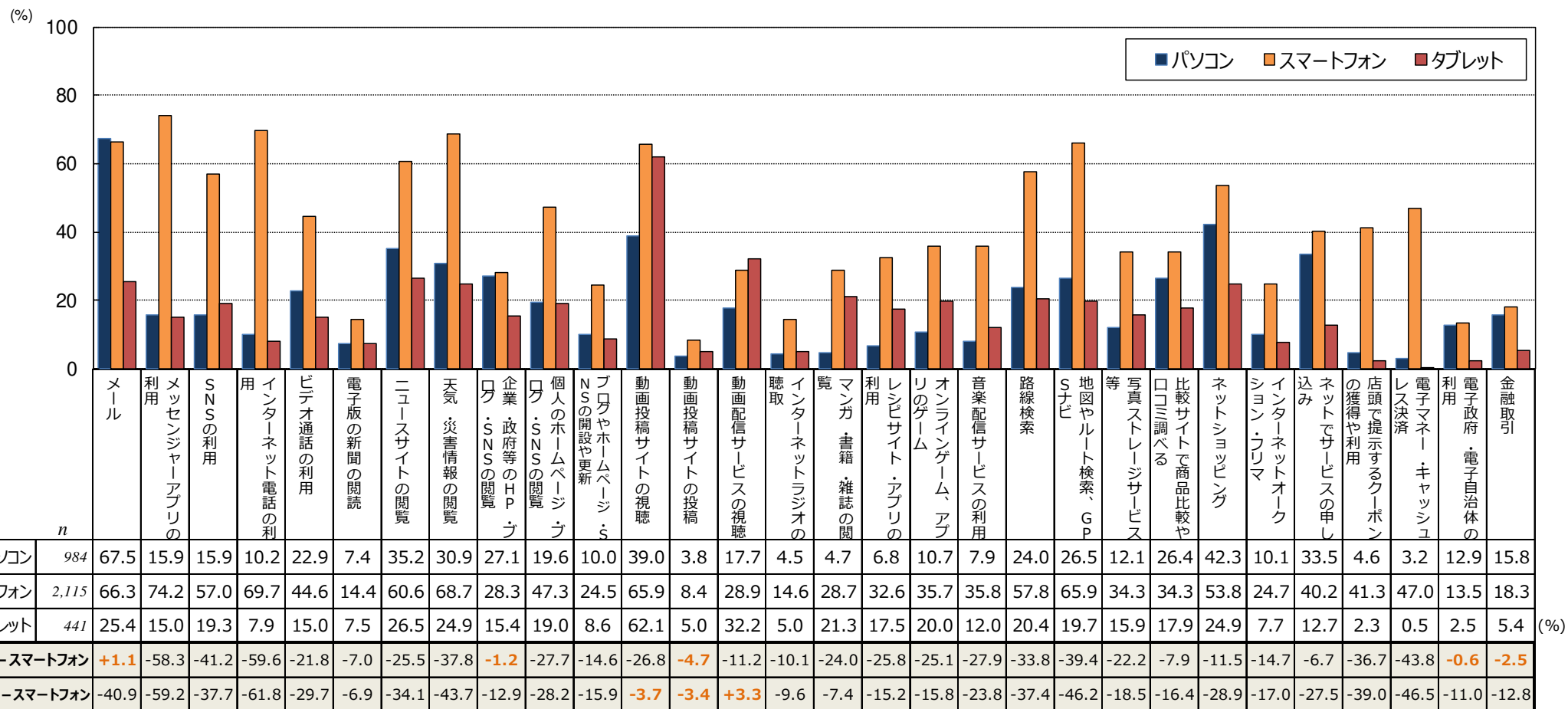
+5ポイント以上の差→赤
-5ポイント以上の差→青

インターネットで行っていることをデバイス別で比較してみる。

- ◆ほとんどの項目でスマートフォンでの利用率が最も高く、特に「メッセージアプリの利用」「SNSの利用」「インターネット電話の利用」「天気・災害情報の閲覧」「路線検索」「地図やルート検索、GPSナビ」「店頭で提示するクーポンの獲得や利用」「電子マネー・キャッシュレス決済」は、スマートフォンの利用率が、パソコンとタブレットそれぞれの利用率より30p以上高い。
- ◆パソコンでは、「メール」「企業・政府等のHP・ブログ・SNSの閲覧」「電子政府・電子自治体の利用」「金融取引」はスマートフォンに近い利用率になっている。
- ◆タブレットでは、「動画投稿サイトの視聴」「動画投稿サイトの投稿」「動画配信サービスの視聴」はスマートフォンに近い利用率になっている。

■ デバイス別 (2023年)

インターネットを利用して、どのようなことを行っていますか。(各デバイスのネット利用者ベース: 複数回答)



±5ポイント未満の差→オレンジ

◆調査方法

- NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）
- 調査員による個別訪問留置調査

◆調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
- ※エリア・都市規模と性別・年代構成は、日本の人口構成比に合わせて割付

◆抽出方法

- 200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当

◆調査期間

- 2014/2/5～2/17
- 2015/2/4～2/16
- 2016/2/3～2/15
- 2017/2/2～2/14
- 2018/2/1～2/13
- 2019/1/31～2/12
- 2023/1/29～2/11、3/31～4/13

NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、過去50年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性の高いデータを提供しております。

NOSは、定期的実施する乗り合い形式（オムニバス）の全国調査です。

毎回決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性別・年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**